滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者每行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二十九番）

一布綿…六吊百文…六二吊二百
…價錢五吊四百文…五吊
集…共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
…六吊九百文…六吊八百

一連紙　一連　一圓
一フールスカツプ全　四圓
一中判洋紙全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一椅子…
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室　百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
山東丸　五月三日朝出帆　大沽、芝罘、門司、神戸行
相模丸　五月八日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
日海丸　五月三日門司行
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口出帆廣告
潮洲丸　入港乘客謝絕
汕頭丸　五日出帆門司、神戸行
代理店　東營口公園地横　ブフレユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需國本主人啓

宅洋行
啓者敝行專賣綿絲粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
開設老爺閣街同盛德院內
電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚懇遲知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意彙賣各幇洋什貨棧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（攝利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沾來福）淸香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　穎朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大無于昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本淸酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售、日本白米、
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院　招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し農に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齢者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便玆因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點鐘過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木　▲木炭
▲生石灰　▲竹
▲亞鉛板　▲洋釘
▲日本米　▲疊
喜久洋行
營口永世街八十號（電話百五十二番）

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門（電話八十一號）
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟乘代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇　英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）　小島榮歲

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許　丸重洋行
營口西北街牛家屯停車場構內（電話一八番　電話四六番）

材木販賣　荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
櫃開設　東　營口南永世街北斗洋行　西　營口西北街塘子胡同內

上海中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連邊其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

自造煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子　加州組（電話八十六番）

發賣
料木、杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行　營口元神廟街（電話一四七番）

東京電報

●病院船派遣中止　米國政府より赤十社病院船派遣の事を丁寧に辭退し來りたるを以て取り敢へず五万圓を上野領事に送付し在留本邦人に應急救助をなさしめたり

●伊藤統監入京　伊藤統監二十七日入京せり

●暹羅皇族入京　暹羅皇族陸軍總司令官ヘナコンジアイスリー殿下二十七日入京せり

●觀兵式參列將官　大觀兵式參列の陸軍將官は大島總督以下百二十五名なりし

●東邦協會の演説　二十七日夜東邦協會の總會に來賓は英國大使支那公使大隈伯林公使等にして席上大使は東西南洋の一致協和を目下の急務とする旨を説て之を爲すは具体的精神と正義とにありと結論し大隈伯は今や本邦人は西洋の文明と日本の文明とを調和し擴張するの時機に達す其調和は即ち世界の平和なりと演説せり
（以上四月三十日發電）

●大觀兵式光景　朝來好天氣にして風起らず凱旋大觀兵式は豫定の如く行はれたり其光景左の如し　陛下にはカーキー色の改正服（皇太子殿下も御同様）を召され二頭立の鳳輦にて九時半青山練兵場に御入場あらせらるゝや忽ち氣ヲ附ケの「號令」全部隊に下り君が代の奏樂起る是れより閲兵式あり滿洲軍の縮圖とも見るべき場中カーキー色の一色に銃劍を提ぐる所鳳輦粛々として過ぐ壯觀言はん方なし鳳輦練兵場を一週して玉座に御着在らせらる間もなく各師團分列式始まり歩騎砲工輜重の大小部隊は戰功顯著なる聯隊旗と共に前進を始め大元帥陛下に向つて「頭を右」の號令下に最敬禮を表して過ぐ歩調一整に銃劍日光に輝き騎兵の砂煙を揚ぐる樂隊の勇壯なる行進の譜を奏する騎馬の斷き走る等皆壯觀を極めたり正午過式終り諸許了りて龍顔殊に麗はしく鳳輦を回らし給ふ是れより畫食后各兵は日比谷公園に向ひ凱旋行軍を始む斯くして曠古の一大盛典は目出度終りを告げたり

●大觀兵式勅語　朕茲ニ凱旋軍ヲ集合シテ親シク觀兵式ヲ擧グ軍紀大ニ振ヒ隊伍能ク整フ一ヲ認メ朕深ク之ヲ賀ブ爾等益々奮勵シ以テ帝國陸軍ノ發達ヲ期セヨ

●大山元帥の奉答　陛下茲ニ凱旋軍ヲ親閲アラセラレ特ニ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ堪ズ益々奮勵努力以テ聖旨ニ副ヒ奉ランコヲ期ス臣巖凱旋軍ヲ代表シ謹ンデ而奉答ス

●新宿御苑の御宴　天皇陛下には本日正午新宿御苑に行幸あらせられ今回の大觀兵式に參加せられたる各宮殿下及大臣陸軍將官以下六千五百名を召され御宴を催ふさせらる
（以上五月一日發電）

雜報

●樺太漁權問題　樺太漁權問題に付我外務省は數日前露國政府に向ひ何等か長文の書面を發しだるやにて右書面に對する露政府の回答を待ちて更に關係各省間に凝議し然る後閣議に提出して決定する手筈なれは今暫くの間は兎角の決定を見る能はさるへしと云ふ然るに世間往々にして訛傳を流布し外務省が露人の要求を容れ長期漁業權の追認を爲すことに決したりと傳ふるものあれとも右は全く本末を誤りたる説にして該問題に就ては屢々報したる如く當初より外務陸軍兩省に於て協議し農商務省亦將來漁業上の關係より協議に參與し居りて我政府の意見確定の上は外務省が露國と交渉の衝に當り樺太民政署之か執行の責に任すへきは勿論なれとも畢竟閣議を待て始て決定すへきものなるか故に單に外務省の意見を以て左右し得へきものとは見るへからされは將來に於て果して露人長期の漁權を追認するに至ることとあらんも是れ全く閣議の結果と見るを以て當然なりとすへし要するに該問題は前記の如く露國政府と交渉中に屬するを以て急には決定を見る能はさるへしと聞けり

●露の黒龍江經營　旅順、大連を失ひたる爲め露國は鋭意黒龍江經營に當らんとする決心にて一昨年既に黒龍江河口より二百英里の下流を浚渫し其の河幅を擴けんとしニコライフスクより約[illegible]六英里のカルカ、クリオ、オリヤルの測量を了りたるが右三箇所は何れも黒龍江及ひ松花江領域の通商を營む船舶冬營地たらしめんとする者なり露國は現に其の河川に存する砂地にして船舶に危險を與ふる場所の取除きに着手し荷揚地を増し且つ鐵路四線を設け河川檢査を行ふ事に決したり右は一面黒龍江領域に於ける鑛山事業の發達を期するものにて英人の手に在るシルカ金坑は再ひ採掘を開始せり尚英國の某商社はゾホリレ、シカル間に鐵道を敷設すへく同地方鑛山用の機械は開戰當時上海に着し居たるを愈々右の地方に輸送したれは同地方の鑛業は今後大に發展を見るならんと

●大震災と此後の桑港　桑港は震災火災の爲に殆と全滅の有樣と爲りたる事は今日までの悲報に依りて明かなるが借此の災厄後に於ける同港の狀態は如何なるべきかと云ふに米國太平洋方面第一の出入港たる好位置と元氣旺勃進むを知りて退くを知らさる米人の長所と相待て長く同港を荒廢に委し置かさるは勿論なるへく災厄中の今日早く已に華盛頓に則りて同地を再建すへしとの説ありと云ふに徴するも疑ふへからさる次第なるか、されはとて同地の再建は固より短日月間に成就せらるへきにあらす其の繁盛の回復を見るは何日なるへきか測り難く特に火災の爲め殆と荒廢に歸せる都市が忽ち回復して以前に優るの活氣を示すは同國の市俄高、バルチモーア兩市に於て其の實例を見るも桑港の如く恐るへき地震と火災の爲に廢滅せる土地が再ひ多額の資本を吸收するは容易ならさる事なれは同港の繁盛は少くとも今後數年間は北方に移りてシャトル及ひタコマは特に驚くへき大膨脹を示すに至るへしと

●寺內陸相の去就　西園寺內閣の組織に際し寺內陸相も山本前海相と同しく辭職の筈なりしも山縣元帥の懇諭により戰後殘務の始末を付くるまで留任するとに決したるば當時世上に傳へられたる通りなるが其後の成行に就て聞く所によれは長閥陸軍の主力は山縣侯を中心とし寺內兒玉兩氏を兩翼となせる姿なれとも寺內氏の勢力は非常に大にして山縣侯も殆んと氏に一任して顧みさる有樣なれは長閥陸軍の中堅は事實上寺內氏にある戰後の新發展に關し長閥の勢力を扶植し薩閥其他を壓迫するには是非共寺內氏の留任を要するの事情あれは結局寺內氏は今日の儘留任することとなるへしといふ

●京釜鐵道買收期　京釜鐵道買収法に依り同鐵道は本年度內に於て買收せらるべき筈にて其期日に就きては未だ發表せられざるも政府に於ては愈々來る七月一日を以て買收する事に決し五月一二日頃には同鐵道會社に向つて內命あるべしといふ尚買收後は統監府に於て經營することとなり從來の職員は任用令の發布迄一時統監府の雇員として使用せらるべしと

●滿洲經營と撫順炭坑　滿洲經營に就ては過般來調査委員會に於て研究中なるが何分大問題なるを以て容易に成案を見るに至らず此頃に至り漸く同地百般の經營は撫順炭坑を中心とする丈け確定したりされば目下滿洲に出張中なる若槻大藏次官、山座政務局長、酒匂農務局長の一行も同炭坑を中心として實地調査をなす筈なるが同炭坑を官營となすか將た民間に拂下ぐるかは同一行視察の結果によりて決定する都合なりと昨紙同炭礦の藤田三井の共同經營に歸せる旨報道せると稍々事實を異にせりと雖も掲げて以て後報を俟つといふ

●鐵嶺商品陳列館狀況（報告摘要）　▲出品に係る狀況　陳列商品の出品は續々申込數を增加し開館當時に於ける一萬九千四百五十七點に比し二萬二千二百四十點即ち二千七百八十三點の增數を示せり　▲內地出品者殊に大阪府、東京府、愛媛縣の如きは實況視察の爲め來館するもの多し是等來觀者の言に據れは鐵嶺の地たる從來內地商業界に普く紹介せられさりし爲め其實際の狀況を知るもの少なく隨て將來の發達を豫想するに至らす此擧に贊するもの亦其出品に躊躇せし傾向ありしは事實なり然るに今回實地に其狀況を目擊して豫想の甚た之に反したるを知る云々現に新に出品の申込を爲し或は追加し又は實況を內地同業者其他に通報し其出品を勸誘する等將來確に當館の發達をトするに足るへきを信す　▲觀覧者の狀況　四月三日開館式后四五六の三日間は館內外の取片附及諸種の規定を爲す等の爲め公衆の觀覧を止め四月七日より一般の觀覧を許可せり觀覧者は順次其數を增加し來れり清國人の觀覧者は未た當館の何たると及觀覧無料たると等を知悉せさる爲め其數多からさるも概して紳商なり是等の觀者は尤も綴密に觀覧し詳細說明を求むる等大に本館の主旨目的を遂行し得らるゝの見込あり彼等の尤も注意觀察するものは第六部工藝品第七部織物及糸物（殊に敷物類）等なるが如し當地に於ける本邦人にして現に商業を營めるものも本邦生產品に對し一見大に珍しき感を起すか如き狀況あり是れ戰時に際して俄に斯業に轉したるものなるか如く本館は將來是等をして大に研究斯業を發達せしむるの機關たるへきを信せ▲觀覧者中軍人軍屬の數其多きを占め居るも是等は互に同郷出品物に對する說明に誇り又各自大に研究しつゝあるが如し一は是等の遊覧に供し一は他日に於ける實業發展に益する所又尠少ならさるを認めらる　▲陳列出品賣買に係る紹介　觀覧者中即賣を希望するもの甚た多し止むなく內地出品者に對し其紹介の勞を取りしもの開館後約一週間內に於て約五百圓の價格に上れり

●遼陽城內の出火　四月二十日遼陽城內に出火し同二十六日は大連に火事あり亦も本日遼陽城內に火災を賭る近來何を祝融の祟り甚しきや左に本日出火の顚末を記さんに▲銅鑼の警報　當日午前八時三十分頃數名の淸人は銅鑼を亂打し街衢を縱橫無盡に驅廻り出火の警報を傳へぬスワ火事よと俄かに往來騷然を極め就中東西南北の四街大通りは最も混雜せり▲火元は淸人家屋　火元は遼陽城內の中心點たる十字街より約一町餘の東街筋淸人の穀物問屋にて出火の時刻より察するに其の原因は過失に出たるなるへく而るに恰かも當日は朝來西南風吹き荒みたれは火煙炎々として天空を掩ひ火勢は風力を藉りて順次延燒せざれば止まさるの景勢なりき▲水澤軍政官の消防指揮　急報の傳はると共に逸早くも水澤軍政官は現場に出張し非常の危險を冒して日淸人の消防者を指揮されたれは何れも全力を注き必死となりて消防に從事せりされは意外にも大事に至らす羅災家屋は全燒三棟半燒五棟に過ぎさりしなり當初出火に際し淸人側より麗かに舊式龍筒水器一臺を以て消防せしか間もなく滿洲支庫のポンプ數臺を加へ周圍より消止めたる態は勇ましく見へたり▲東洋館の大混雜　火元に接近せる料理屋東洋館は咄嗟の出火に最も紛雜混亂を極めたり紅閨夢裏に花蝶と戯れおりし美形連の騷は又格別にして周章狼狽叫喚しつゝ飛出したる醜態はおかしくもあり又氣の毒に見へたり多くの淸人は火事よりも此の紅裙團に目を注き堵の如く山をなして傍觀せるは頗るの奇觀なりし▲鎮火と損害　全く鎮火し消防隊の引揚げたるは午前十一時にて其の損害高は未た詳ならす東洋館のみにても家屋は半壞し器物等の破損を併せば二千圓の損害は免れさるへし（四月三十日遼陽通信）

●入港船舶の撿疫廢止　滿洲の門口として昨年我軍の營口占領以來各地より來港せる汽船に對して傳染病輸入を防止せんが爲め撿疫規則第七條により出航地を十日間經過するにあらざれば入港を許さすとて嚴重なる撿疫を施行しつゝありたる所既に軍隊も全く凱旋し尚又傳染病の發生地も頃來殆と病毒熄滅せるを以て瀨川領事を始め各國領事團より撿疫廢止を興倉軍政官に申込みたる結果一昨一日より愈々全癈する事となり唯滿船入港の際傳染病者の有無を取調べ果して患者のなき以上は即時入港及ひ乘客の上陸を許可せらるゝ事となりたりと云ふ

●本願寺連枝の來營　清國開教總監積德院連枝は過日當營口を通過し旅大方面に巡錫中の所今回北京への歸途再ひ當地へ立寄らるゝと爲り本三日午前九時牛家屯着滿洲ホテルに滯宿せらるゝ筈にて寺本布教師は信徒を引卒し牛家屯迄出迎はるへしといふ

●太田官補の歸館　領事官補太田喜平氏の旅順觀光は既報の如くなるが一昨夕歸館せりと云ふ

●鈴木軍醫の大連出張　營口分院長鈴木一等軍醫は事務打合の爲め昨夕關東病院に出張せり

●荻原書記官の來營期　大使館一等書記官萩原守一氏は目下天津に滯在中の事は既報の如くなるが奉天赴任期も最早近々にあるを以て瀨川領事と種々打合の必要上來る五日同地出發六日來營の筈なりと

●朱隊長の去來　田庄臺清國守備隊長朱氏は奉天趙將軍と會見の爲め昨夕三十二名の護衛兵を引連れ來營直ちに午後九時三十五分の列車にて奉天に向け出發せり

●英國尉官の來營　北京駐在英國公使館附陸軍歩兵大尉ゼニングス氏は旅順觀光の途次當地に立寄り興倉軍政官を訪問せりと

●一般市民の注意　明四日は本紙廣告欄にもある如く當地消防組出初式を擧行する爲め第一派遣所內の警鐘を鳴らす由なれば一般市民に火災と取違へざるよう豫め注意すべしとなり

●エビスビールの大販賣　盛進洋行及び金升洋行の一手販賣にかゝる日本麥酒會社釀造のエビスビールは去月第一回の輸入をなせし所非常の好評を以て悉皆賣切れとなり居りたるが更に第二回の大輸入をなし目下賣出し中なりといふ

投書かご

▲此間病院で患者の一人初音のお雪と醉月のお千代と負けず劣らず大立廻はりをやつたさうな喧嘩の原因が聞きたいものである（聞鯛生）▲松榮座の美根六丈は夜は車輪の大勉強なのに晝は市中の觸れ廻はり迄のお役名は大儀でげすな併し東洋車の上で立ち口上は烏渡滑稽である（お知合）▲一力のた玉といふ仲居は毎夜〳〵コツソリ抜け出して司法部附近の藥屋に出張し居つたが昨今は丸髷で其店にヘイ入らつしやいと洒落れて居る（兎耳生）▲私は高等小學校卒業後四ヶ年間測量工夫と爲り目下或商店に奉公して居りますけれども元來商賣は不得手の方でありますから何處か測量工夫の入用がありますれば御雇ひ下さいませんか屹度誠實に働きます（住所姓名在社）

●愛嬌の御手柄　五月一日のこと元神廟街保松方の下婢西浦かつとか云ふ年頃は二八か二九からぬ一寸小粋な顔付の別嬪軍政署の庶務係に旅行券許可を得て皈りし後に小包到着の通知書を受付口の窓に忘れありしかば尙も係官は西浦を三回迄でも呼べども更に答なき故受付の窓口に掲げ置きしかば突然ハイカラ男が右の通知書を無斷剝ぎ取らんとせる一刹那係官は大喝一聲其の不行屆き所爲を叱咤すればハイカラ男の申けるは此窓に私しの小包通知書が張つてある程に取つて頂戴なと乙な言葉で頼まれたとの返答に流石嚴めしき軍人殿も苦笑を禁じ能はざりしとは扨ても愛嬌の御手柄なりけり

●〇長殿の醜聞　英雄色を好むは古來よりの定則なりと云へばそれ迄ながらさりとても又誤自分に恥ぢざる行爲あるに至つては沙汰の限りにこそ茲に營口よりは程遠からぬ或る嚴めしき所にお勤め遊ばす〇長殿過る日或る用務を帶びて或地方に出張せられしが其際計らずも意外の利得に忽ち生來の好色、該地に於ても少からず醜聞を流され果ては福勇とか云ふ藝妓を身受して戻り目下手活の花と寵愛淺からざる由なるが尙それにても事足らざると見え夜な〳〵お忍びの姿にて營口の料理店此處彼處に這入りて淫賣藝者の誰彼を對手に他愛なく興じ居らるゝのみか日々猫共に面會を許して某所の應接間にて喋々喃々私語の聲さへ洩らさるゝ由扨ても淺間敷き事なりと奮憤生よりの注進書くの如し

春季

砂濱や陽炎のたつ蟹の穴　木嬰
鶯や日暮れなんとして一しきり　同
したゝかに紅梅のちる眞晝かな　同
春の日や句に志す男あり　牛骨
紫の被布着た稚兒や桃の花　同
床しさの田舍に近く籬かな　同
虫除の御符を立てけり接木畑　稻波
神木をいと尊しと接にけり　同
おれが顔見て鶯の啼にける　野梅
黄鳥や中位なる木の高さ　同
鶯の逐に一日鳴かざりき　虚空洞
我も亦老爺を似ねて接木哉　同
山をなす馬の糞から草萌へぬ　同
辛ふじて十句を得たり春の雨　同

〇

祝盃に花散り掛る夕かな　なる子
開港の舟の出入りや春の海
店先に梅散る里の藁家かな
精園の梅千年の幹もかな
心ろ輕く風輕く蝶の日和かな
洋々と海三千里春の風
行く春の嵯峨を出たり歌法師

●營口花信　近頃營口美人の異動が殊に甚しいやうだ美形の豊富を以て誇つて居た醉月の如きも太郎君去りおたね讓嫁し全盛藝者の二郎ドンも東京館に旗を擧げ五郎坊も何處かの滿洲式細君と爲つて一家を構へたので頓と寂寥を感ずるやうに爲つたげな▲祇園閣のおふじ姐さんは二三日中に日本館からヘイ今晩はとヌツクリ顔を出すさうな▲春帆樓へ摩耶山丸で久ちやんこいふ可愛子が來た御永當々々

諸鐵工製作（營口）
鐵
一、船舶輸出入荷物取扱
税關手續
梅毒婦人科
專門日本醫院
大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所

天
營口地方天氣豫報
自二日午後六時至三日午後六時

小說

新作小説 おとし胤（五十二）

德田秋聲

「光、其方は、何うして母が不幸になツたのか知ツて居るか。」

海鹿子爵の聲は、一種の悲痛と苦惱とを混へて、熱情があツた。

「存じませんの。」

と光は、無雜作に謂ツた。

「知るまい、む丶、知るまい。母はの、此の俺が不幸にしたのぢや、此の俺が！……」

「ま、阿父樣が……」

「然うぢや。勿論此の俺にしても、母を不幸な者にしやうとは思はなかツた。けれども事の成行が不幸になツたのだから爲方が無い。俺は悔んだ、眞箇自分の爲たことを後悔してゐる。此の後悔がまた、何樣なに歷苦いと思ふ……後悔とは取返しの付かんものぢや、一生忘れることの出來んものぢやぞ。俺は、今でも那女のことを考へては泣く……　此の年になツても泣いてゐる。な、光、其方はの、此の心だけ汲取ツて呉れ、其方には、此の心が汲取ツて呉れられる筈だ、可いか、汲取ツて呉れるだらうな。そして此の事を一生忘れて呉れるな、可いか。」

海鹿子爵は、何時か鼻聲になツた。辛而射來る月光に透せば、あはれ、老に凹んだ子爵の眼頭には涙が白く煌いてゐた。

光は、その顏を見るに耐えなかツた。そして悚えやうとはするが、自分も何時か催涙むで、やがては、はら丶丶と落つる涙。

その涙を見て、海鹿子爵はまた、

「や、其方も泣いて居るか………　む丶。天下に俺の爲に泣いて呉れる者は其方ばかりぢや。また俺が愛する者と謂ツては、其方ばかりぢやぞ。其方が織江の紀念かと思ふと……」と謂かゝツて、海鹿子爵は、ふと氣を變えて、

「俺が織江へ詫をするには、其方を立派な人間にして、立派に俺の嗣子にする他に手段が無い。其方が海鹿の家の主人となツて、明い、幸福な女になツて呉れたら、織江は、何樣なに滿足するか知れない。また俺には、織江を滿足させなければならん義務があるのぢやから、俺は、最後の事業として、最後の精力を集注して、其方を立派な女にする。誰が、何んと反抗しても、奈何なる妨害をしても、俺は敢行する。ぢやから、其方も、設何樣なことがあツても俺に信賴して頑固に辛抱して呉れ、のう。何樣なことがあツても短慮なことをしてはならんぞ。たゞ忍耐ぢや、我慢ぢや、のう。」

光は、たゞ輕く點首くばかりだ。

「それから、もう一ツ、其方に注意して置かなくてはならんことがある、其方は今日、熱田と何樣な話を爲て居ツたか知らんが……　それは、何樣な話を爲て居ツても可い。可いから、此の後、熱田に近づかんやうにして呉れ。また熱田の謂ツた言を信じてはならんぞ。那は狼ぢや、油斷があツたら、其方の肉を啖はうとする奴ぢや………　勿論熱田ばかりぢやない。若い男は、皆狼と思ツて居らんければならん。俺も若い男だツたから、織江を不幸の者にして了ツたのぢや。」

けれども此の話は、光に取ツて、一箇の謎であツた。何んのことか深く其の意味が解らなかツた。勿論これぱかりで無い。晝のうち父が熱田に向ツて謂ツてゐたことも、光には何んのことか能く解らなかツた。

そこで光は考へた。熱田さんに何うして近づいてならないのだらう。熱田さんは何うして狼なんだらう。何うも解らない。熱田さんは決して其樣な惡い方では無い。また惡い方ならば、叔父さんがお友達になツて在ツしやるもので無い。これは、何か阿父樣の考違であらう。彼女は、無邪氣な考から、胸の奧で、頻に熱田のことを辯護してゐるのであツた。辯護してゐる裡だ。光は、熱田が大好になツた。それで右の耳で父の訓を聞いてゐる傍から、左の耳に影の無い熱田が來て何か囁いてゐるのであツた。そしてその魂は、熱田の歸ツた後を追駈けてゐる。火桀には火が點いて了ツたのだ。

●東京だより

四月二十三日　鳥山生

謹啓陳者彼の兇徒聚集事件も愈々無罪との宣告に多少望みは屬したるもの丶辯護士連もやつと胸を下したるもの丶如くに候。爭決言渡の際自業自得ながら最も氣の毒に感じ候は撿事殿に候ひし。撿事の面目を保たしむる爲めに多少「治安警察法違反」位はと心窃かに待設けたるに何事ぞ、無罪の言渡のみかは「撿事の杜撰も亦甚し」と迄大喝を喰ひ眞蒼になりたるは心地好きと申すか何とも形樣難致ひし。如斯爭決の下に撿事にして辭職せずんば實に將來人權の基礎を危くするものなれば是非相當の處分を爲さゞるべからずと目下法曹界の一大問題となり居候。之れにて頭株連の形は付き候へ共殘黨百有余の裁判は之れより始まるべく、隨分厄介なるものに有之候。殘類は悉く放火、掻浚、暴行等夫々自白濟に候へば所定の罪科は到底免る丶事不能と被存候。何にはあれ今村裁判長の男振を揚げられたるは目出度限りと存候。

本月三十日に擧行せらるべき大觀兵式は曠古の大典とて其準備に忙殺せらる丶有樣に有之候。前戰役中に得たる戰利砲は夫々宮城前或は九段坂邊に備付られ候。此大典に參列すべく在地方諸星の上京頻々にして三十日には帝國の精華擧げて帝都に羅列せらるべく候。大祭光景は追て詳報可仕候。頓首。

廣告

●森病院

診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森　嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

●廣島縣人親睦會●

候は春光爛漫として邦土には今や百花の爛熳たる、滿洲に在て觀るに由なく終日俗塵萬丈の巷に馳驅し役々勞作するもの是れを在滿の人に於て見る此際此時吾縣人一堂に會し以て親睦の宴を張り疲憊せる腦底に慰藉を促すと共に已に現下に迫れる平和の戰鬪に對する善後の策を研究するの又徒事に非さるを惟ひ茲に此事あるを致す幸に我縣出身の志奮て御參會あらんことを希望す
會場　營口河岸通り　日營ホテル
期日　五月十日午後四時
申込所　會場たる日營ホテル　永世街二本町　川本活版所
申込期日　五月八日正午迄
會費　銀貳圓　但會費は申込の際持參の事
明治三十九年四月　日
發起人　一同

社告
今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也
大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
鐵嶺南門內　東雙泰
安東縣新市街　東華公司
新民府　泰東公司

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南憲第三十六號　北斗洋行質屋部

御料理
板場新來了料理は高尚ト淸潔ト廉價トヲ輕便トヲ打テ一團ノ會席ヘ御意ニ從ヒナンデモ仕餘ゲンシンビヨガイデス
雪月花
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ますまつのや藝妓　ふで　仝　松吉　仝　二〇か　義太夫　牛莊
御客樣方

開業　日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
元神廟街二四八號（電話局向）
月　日　義安公司　廣告

瀛船出帆案內
潮洲丸　本日入港
汕頭丸　五月五日出帆　門司、神戸行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物も當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
大阪商船會社荷客取扱所　內外船舶代理係貸借仲立　輸出入稅關手續　解船人夫運搬請負　諸品委托賣買　水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
西北街　德重洋行

滿洲第一湯崗温泉
風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
大石橋　營口　海城　湯崗温泉仝停車場　遼陽　奉天

大連　東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

和洋雜貨　盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

本行開設以來早已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致徹行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓
（雜貨商）
（元神廟街）
天聖洋行
（電話百三十七番）

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候
營口二本町　梅廼家　田村瀧太郎

抽籤の結果左の番號當籤仕候間何時にても景品引替可申候
五月一日　翁亭

第四六八	シユチンカタウラ	一枚
第三八二	中巾チリメンヒシコキ	一筋
第三九三	銀カワ時計	一個
第二八六	白米四斗俵	一俵
第四七六	サツマカスリ	一反
第三一九	十八金マカイ時計	一個
第四〇五	新ヲメシ	一反
第七六	朝日ビール	一折
第三〇四	コウモリカサ	一本
第二七五	ユカタ	一反

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、上等鰹節
罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、
一淸酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らす御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八號　雜貨商　大原洋行

古料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

元神廟街憲甲第二三〇號

宅合名會社支店

當店義都合有之本月限り閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候

清酒　**澤龜**　印

ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

宅合名會社　營口支店　閉鎖廣告

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院ニ内ヲ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日

宅洋行

胃腸病新藥

消化劑　**糖化素**

医学得業士　矢島氏發見

満洲特約一手販賣　**東瀛大藥房**　營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛渴用米麵積滯腹瀉脚氣婦人懷孕嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効

發明者日本醫學得業士　矢島猴太郎　謹白

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士　**森川範一**

土木部主任技師　**永原万吉**

營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）

土木建築請負業　**井上公司**

萬代不朽　**毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告**

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり

リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元宍原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）

井上公司

大日本政府特定

官製口付紙捲煙草

滿州一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

銘酒　白鶴

諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣共に是迄の賣段より壹割引　酒及米、罐詰等は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候　敬具

營口元神廟街　**井門洋行**　電話一八五

遼陽西門外　**仝支店**

大日本帝國有名方劑

御化粧品一切　賣藥

右を少し內にても御用命被下度候……

大阪谷回春堂　營口永世街　警務課司法部東隣　滿洲總售處

三木大藥房　天洋行（電話百九十番）

日本有名秘藥　賣藥物總售廣告

三木大藥房　大洋行（電話百九十番）　啓

營口元神廟街

飯塚工程局材料部

（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て御引立の程奉希上候　少に不拘賣却仕候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等

一日本石炭數種

東營口西北街

裕和盛

電話八一番

東清鐵道　遼河　貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール　日本酒澤の鶴　洋酒、食料品　和洋罐詰、食器　內外煙草、葉卷　エジプト、文具　化粧品、金物類　肥前白米、醬油　酢、木炭、其外　色々

卸並に小賣

彩票

毎月　大連　鐵嶺　南洋　湖北　發賣

本店　長崎

支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

發賣　米料　標子　木板

塩川商會

遼陽小西門內　鹽川商會　●建築

外に

電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本

用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

清國營口二本町二五五號

主任　**鹽川峯吉**（電話三六番）

關內外蘆漢鉄道貨物

一**運輸**　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一**海關手續**　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱

一**鈔關手續**　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一**船舶貨物取扱**

一**其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業**

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司　營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館　東京樓

店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需に應ず

御席和洋料理　**東京樓支店**（電話四十四番）

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月　日

鐵嶺西門外火神廟六十一號

支店　**高砂ホテル**

會席料理　營口警務課前南に入る　**三日月**

稟告

弊樓儀營業以來日尚淺きにも拘らず各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側**木村旅館**を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ**旅館營業**仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白

月　日

營口永世街五十七號

三日月樓主

和洋御料理

一力

舌代

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主　敬白

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさず御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候

營口二本町　敬白

祇園閣旅館部

主人（電話一四四番）

各位

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）

（電話百二十七號）

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所（第一市場南側）

當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷烟草は毎二ケ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候　尚賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ケ月毎に競賣に附して賣却可致候

エン、マリホールド

千　客　万　來

鞍…便鐵道附屬鑛工
土木建築用鑛材料
其外鑄物諸般
定商 門會 街東
喜…場
一、當營附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達致ハ保管可申候
市場北三階樓
時計店ノ二階
宮原公司

輕便入院
永世街警務課ノ前

大阪市北區河內町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

宮門抄

初五日
禮部 太常寺 正紅旗值日 無引見 太常寺奏派讀祝官
派出恭王 陸寶忠
召見軍機
皇太后 皇上本日巳刻升 勤政殿法國使臣呂班 覲見
唐紹儀遞封奏一件

論說

美國虐待華工華人抵制美約論

昔哥倫布。遠越重洋。而闢新地於美洲。英人遂竭力經營。斬其榛荆。治其蕪薉。招徠流籍。以實其地。並移植其民。以爲制藩政策。且令均習該國語文。爲化合民族之宗旨。致力既久。日漸繁昌。厥後英與法人開衅。相持數年。調餉徵兵。率皆取給於此。美人憤其苛虐。積怨生怒。咸欲爲不平之鳴。旋經美之代表人。華盛頓者。號召洲民。起而與英相抗。義旗所指。全屬風從。振臂一呼。萬夫響應。與英拒戰。遂敗英師。當此之際。英值戰爭餘勢。財力耗竭。元氣不充。已屬無可如何。乃許美自立爲國。兼許聯爲友邦。永修盟好。爰戢干戈。美人德華盛頓之豐功。群欲推戴爲王。永作美利堅不祧之祖。詎華盛頓讓德彌高。辭而謝之曰。得國而思傳之子孫私也。予深恥之。因爲詳擬立國規則數十通。凡內政外交。以及會盟征伐。大綱悉於是乎備。以故至今美利堅合衆國之共和政體。暨選舉總統代民行權諸制。皆華氏之遺法也。溯美立國之初。雖較勝於英之新闢其地。而平原千里。尚皆滿目荒涼。戶口無多。不過隨地散處。求其如今日之膨漲發達。殷饒繁盛。不誠有天淵之別乎。值美招集流氓。充其版圖。實其土地之日。華人之旅游海外謀食四方者。亦相率麕集其地。美人初亦利其勤而廉其值也。爭相僱覓。惟恐後時。彼其各工廠各商埠之工作。罔弗惟華人是賴。日復一日。年復一年。華工之赴美者。以數十萬計。洎乎美之牛齒繁多。逐漸增添。有加無已。持籌操計者流。有鑒於茲。以爲外國數十萬食力之民。咸思取給於此土。溢外之漏卮。孰有甚於此者乎。於是群起而謀所以禁制之法。設彼時呈明政府。謂華工既衆。於國民之生計。妨害良多。不妨明定約章。宣布禁令。無論何國工人。均不得入美工作。何莫非應爲之舉。而乃計不出此。僅思摧折之。苛虐之。酷烈慘毒。幾無人間之公理。攷華工入境。美國警官。必逐一檢查之。他國各項之人。別有檢視之處。獨於華人。則閉置於馬廄之中。或溷則之側。輕看蔑視。不以人齒。初至即然。入境之後。其酷虐當更何如也。我中國政府。下至士大夫。已固知之。獨礙於兩國邦交。至親且厚。決不肯以睚眦之嫌。致傷中美睦誼。前者甲辰春闈。大場策問第五題。有美國禁用華工。久成苛例。茲屆十年換約。宜如何斟酌改訂。以保僑民等語。維時僕曾痛切言之。猥以名落孫山。言之何濟。其年聖路易開博覽會。美政府照會各國赴賽。中國官紳商富赴會者。頗不乏人。比至舊金山紐約各埠。其虐待華工之政策。又施之於赴賽之華人。及歸國時。各處傳揚。遂動華人公憤。復值換約之期。美人又毫無刪削遷就之意。以故華人商界、工界、併學界諸君。共生公憤。而抵制美約。不購美貨之風潮。接踵而起。始則聞於上海矣。繼則聞於廣東矣。至是而福建。而浙江。而湖北。一波未平。一波又起。而廈門學堂各學生。午開會演說。函致美領事某君。求其轉達政府。以冀禁約之改良。說者謂此不其然乎。顧或爲袒美之說者。謂美向未侵奪中國土地。中國數十百萬國民。結大團體。可爲異日國家自强之起點。庚子之役。首倡保全中國主權之議。中國始免瓜分之禍。美之有造於華者。至大且重。何爲忘我大德。思我小怨。而不知非也。美既厚愛於華。何妨禁阻華工之往。而乃多方虐待。種惡因於十載以前。收惡果於十年之後。不敢以愛美之故。爲美寬假其詞也。況近日美國士大夫之識大體者。亦多爲持平之論。未嘗袒護其宗邦。可知公道自在人心。抵制美約之舉。爲商民之反動力。非中國政府稍有所干預。而左右之也。明乎此。則中美邦交。固依然無所損失。而國際上之敦睦如初焉。現今美政府亦動悔心。改除禁約一切。與以優待。擬諸他國而適同。則此後中國商民。自必銷除抵制之意見。而重表其感情。將見中美和輯。永永無窮。非兩國生民之幸福歟。

東京電報

●美國謝絕派遣病院船

日前日本政府擬特派赤十字病院船於美屬桑富蘭洗斯科埠以救護震災負傷者已以其意通美國政府 美國總統固辭不肯受因之日政府罷派遣病院船之議即電送金五萬圓交桑港上野領事以救助在住日民之罹災者云

●東邦協會總會

西四月廿七日晚開東邦協會總會於東京來會者有英國大使中國公使大隈伯及林公使等朝野縉紳數十名席上英國大使演說曰今日之急務即在計東西兩洋之一致協和而其爲之則在具形的精神與正義云云大隈伯亦起演說曰今也日本國民現正在調和擴張泰西與日本文明之秋東西文明之調和是即世界之和平也云云 （以上西五月一日到）

●凱旋陸軍大操詳情

凱旋陸軍大操之盛況昨報誌其概略今據詳報云該日朝來天氣快晴風塵不起上午九點鐘二刻 日皇服御卡氣色軍衣（按卡氣色即帶黃茶褐色也）駕二頭挽之鳳輦幸臨青山練兵場號令一下全軍肅然正姿一齊奏君代之樂首 日皇親閱軍兵次有各師團軍隊之分列式步騎砲工輜重各兵科之代表軍隊各持嘗陣頭所樹偉功聯隊旗前進抵大元帥陛下之前一齊捧槍行最上敬禮軍容堂堂隊伍整齊誠不負爲戰勝國之大操十二點鐘式全畢 日皇親行講評遂回鑾云 （西五月二日到）

中外要聞

●中英藏約述要 中英藏約內容要領已誌前報茲聞此項條約用中英兩國文字繕寫兩份定於兩國大臣簽押後三個月以內互換 批准如將來兩國有意見不符以英文爲準據英人云此次藏約於中國頗有利益據華人云英國立舍名取實之策其於藏約所獲利權甚鉅我中國多損主權蓋各係一面之詞未便妄加批評識時務之士自知是否矣

●吉紳請自辦夾皮溝礦 聞吉林夾皮溝金礦前俄使請求展限外部擬允有吉林紳商遞稟外務部堅請自行籌款自辦由東省代表人具呈商部一面稟由吉林將軍電外部請向俄使交涉

●奉大預備開埠 開放東三省爲各國通商場不但爲世界各國所望而我國亦夙有此策與日英美等國訂定條約申明開埠今適東三省地面全致安謐日英美諸國均望速行開埠故外部日前電飭趙次帥催開奉天安東大東溝爲通商場聞趙次帥派員查勘奉天擬以省城西關車站附近開爲租界現正准備一切並電請政府派稅務司赴奉商定通商章程並聞趙次帥擬於日間派錢觀察鑅赴安東縣大東溝查勘地段以便早日開放想可於四五月間開埠矣

●電阻德强佔新城礦地 聞山東巡撫楊蓮帥電外務部爲德國礦物公司前援膠濟鐵路附近之十里內准其採礦之約堅意邀求在新城屬地方開採煤礦不允出租地價以致該縣紳公憤稟阻該公司開採或飭該公司與礦主妥議請照會德使飭該公司與礦主妥商議阻和衷辦理云云

●美國不受賑欵 日前 兩宮聞金山震災特撥賑款十萬兩論令外部交美使匯送以資賑恤然美國官商聞此災耗認捐者頗形擁擠日多一日現已所籌集賑欵甚鉅將來亦有源源不竭之勢不必待外國賑欵故美總統羅褊斯君決計不仰他國賑欵飭令駐京美使繳還 兩宮賑欵并表感謝之意

雜報

●募兵補空 蓋城近數年有巡捕游擊隊係程馬二營戎分率之前日馬之兵隊已調往田庄台處現聞趙軍帥擬將該隊編作馬隊每營足額二百五十騎而程之兵隊僅二哨餘近亦調往北去將逐一點名清查故現下程營戎急派其米李二哨弁趕緊募添兵隊用補缺空等數昨有埠民六七名前往應募均入選云

●贓賊被獲 二官塘東沿有一燒餅舖於前夜被盜竊去小鍋衣物等件遍處搜尋竟不可得忽於昨午在關帝廟前一人手拿小鍋出賣失主認明無訛問其何來盜不能答當將該盜捉獲追問衣物云

●海盜何多 昨有進口東船友人云有東船一隻駛至口外忽有水賊十餘人駕一小舟將東船攔住遍搜艙內並無銀錢惟有水手食面一袋携之而去云云

●貧婦被竊 本埠老爺廟橋南東南街有漿洗衣服女工張姓者夜間被盜竊去衣服廿餘件其衣均係舖戶客商之物該婦無力賠償惟有哭號而已

叢談

●佛山之花 自來花叢獵豔者兩情相悅無不思金屋貯嬌而羞澀阮囊不償所願者比比皆是天下有情人未必終成眷屬不謂佛山某甲則不然甲爲某海防館股東子與鸞沙高石級杏菱校書交好久思爲之脫籍特失匙夾萬經濟窘迫未遂双棲詎月之十七日值菱設帨辰甲置酒祝壽酒酣耳熱命菱點山票一條擬同投買同席館伴爭認佔股甲僅佔五仙菱佔三仙開彩甲十二字竟列頭彩約得九千餘金除分與館伴外甲與菱共獲四千餘兩甲擬收彩後即納菱爲小星而館伴分得餘彩亦擬各携相好上街寨中姊妹花聞之無不嘖嘖稱羨

…務報

昨日氣溫
日 昨日の氣溫 最高溫度六十九度 最低溫度四十四度八
昨年と比 高一度四 低一度六

NEWCHWANG, THURSDAY, MAY 3, 1906.

Tokyo was en fete on May 30th. Day broke clear and calm and remained so. H.I.M. the Emperor who appeared for the first time in public in the Khaki uniform of the Grand Commander-in-Chief, as did H. I. H. the Crown Prince in that of a major-general, proceededin state to the Aoyama Parade Ground at 9.30 a.m., when, at the word of command, all the troops present stood at attention. The military band struck up the national anthem "Kimigayo" and the inspection of the troops began. The Imperial carriage drove slowly round the ground along the front of the martial arrays at salute. The inspection being over, His Majesty ascended the grand reviewing stand. Then the grouped masses in their turn commenced moving in parade. The regimental colours mostly tattered to shreds and consecrated by blood and iron were carried in front of the marching lines representative of every branch of arms and of every regiment that have seen active service during the late War. The marchers' uniform, measured tread and the sun glistening on their bayonets, the dust kicked up high by the cavalry, the lively martial music, and the neighing of the spirited steeds; all went to make up a very fine sight.

A little after noon, the review was concluded. His Majesty delivered an Imperial address in the following sense. "We have assembled here this day for a review the returned Army from the victorious field. It has profoundly pleased Us to observe its good discipline and splendid organization. We trust that you, officers and men, will strive towards the further improvement of the Army."

Marshall Marquis Oyama made the following reply: "Your Majesty has reviewed in person the returned Army and bestowed a gracious comment on it. Your Majesty's humble servants are impressed with all the stronger sense of their duty and shall endeavour to their utmost to fulfil the Imperial expections of them."

A Tieling dispatch says that Maj.-Gen. Nakamura and his party reached Ssu Ping Chieh (四平街) on the 25th ult., on which day negotiations were conducted with the Russian representatives and concluded. They left on the following day, arriving at Liaoyang on the 29th ult.

The terms of the agreements are reported to be as follows: (I) The railway south of Miaotzekao (廟子溝) shall be handed over to the Japanese this time. (II) The delivery of the portion south of Ssu Ping Chieh shall be effected by May 11th. (III) By June 1st, the line south of Kungtuling shall follow. (IV) As to the section between Kungtuling and Changchun, the date for its transfer is to be agreed upon later on.

At the suggestion of the Consular Body, the Administration has revised the Quarantine Regulations for the Port. By this revision, ships arriving from infected ports will be medically inspected, and if found free from infection, they will be admitted to immediatepratique, thus removing the 10 days' quarantine hitherto imposed upon them, reckoning from the day of departure from the last infected port.

Capt. E. C. Jennings, Royal Fusilier of the British troops at Peking came here last Tuesday evening and left for Tairen last evening.

Mr. Frank N. Meyer, Agricultural explorer Department of Agriculture, U.S.A. arrived here on the 29th ult. and is a guest at the "Manchuria."

Mr. F. H. Ford of Messrs. Ford and Shaw, the Tientsin architects, was at the port for a few days and has just left for home by the s.s. "Kungping."

We learn with pleasure from Messrs. Butterfield & Swire's steamer "Kweilin" which put in yesterday morning that she happened to see on her way here the re floated "Loksang" slowly making her way under her own steam towards the shoal of Hulushan Bay last Tuesday afternoon. The once doomed wreck must have withstood the critical ordeal of last Monday evening and now, to all practical purposes, her salvage appears assured.

A regular meeting of the Wan Kwo Yen Shuo Hui is to be held this afternoon at 5 o'clock at the Temple of the Fire God, West Yingkow.

The latest Tokyo advices state that H. E. Viceroy Gen. Oshima who is now in Tokyo has donated Y. 1,000 to the Y. M. C. A., Tokyo. According to Consul Uyeno's reports, order has been restored at San Francisco and martial law withdrawn.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川熊三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館　大和館　永世街三十四號店主前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九號　店主　和田常松

和洋御料理　公樂園　南永世街

東京生蕎麥　一式　東庵　元神廟（電話百五十九）

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主齋藤富次郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　泉雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

御料理　柳亭　叮嚀專一　豊濟門街二三　店主　玉岡益人

御料理　一力　並ニ温泉　毎日營湯　營口永世街　店主　堀万助

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　住松信太郎

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館　奉天館　奉天城内鍾樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話二五）

和洋御料理　日清俱樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　天神樓　奉天小西關大街北側（電話　號）

高等御旅館　温泉付大勉強キレーヂヲイシヒ　奉天小西門通（元紅葉館跡）

旅館料理店　日の出樓　奉天小西關大街南側　樓主　大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店　日盛館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　館主　押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主　今井コノ

旅館　大正館　奉天小西邊門外十間房道北側　館主　大草村行

旅館御料理　高砂館本店　奉天十間房第十五號

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

高砂館支店　奉高館　奉天城外廿四號

店主　宇木智平

旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主　原田清五郎

高等旅館　東洋館　奉天大西門外小什字街（電話　號）　主任　藤島初野

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

旅館料理店　勉強館　奉天小西關外ル長發園隣

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北側（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　奉天小西關大什字街南へ入

牛肉すき燒　雞肉　日章亭（電話　號）

旅館料理店　旭館本店　奉天小西關

旭館支店　奉天十間房　館主　原田新吉（電話　号）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　朝枝團挺

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽俱樂部　營口泉雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田清

和洋御料理旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門二七号　上松榮治郎

一和洋御料理　遼東館　遼陽城内東街　館主

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付て續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀とするは弊館の特色に御座候

御料理旅館　扶桑館　奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

御料理本店　金城館　奉天小西關新來當街々（電話十九）

御旅館　金城ホテル　奉天小西門街大什字街（電話二〇）

御料理支店　金城館　營口永世街（電話八三）

御旅館支店　金城ホテル　營口永世街

御料理支店　金城館　大連市吉野町

御旅館支店　金城館　大連市吉野町

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候

猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候

營口永世街二本町　日本館（電話百三十）

各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候　敬具

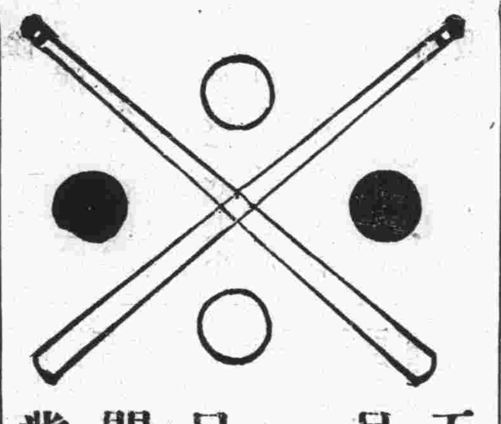
活版印刷並に製本

弊所特色　●印刷鮮明　●價格低廉　●叮嚀專一　●期日正確

營口永世街東入二本町角　川本活版所

美味安價西洋料理　牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣



五月一日開業

東京新臺到着

今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ參り候間何卒御來遊奉願上候

五月六日玉大競技會

元神廟街　第二軒（第三樓の向横町）

着荷廣告

筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、等勝手道具いろいろ

營口　加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店　加藤洋行

第二回新荷着

金舛洋行　盛進商行

爲替相場（五月二日）

日本向　百〇一圓（軍票百圓に付）
上海向　七十七兩二十五錢（同）
天津向　一百〇二圓八十七錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表　加藤洋行

紙類
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　仝　七圓五十錢
一加能紙　一帖　六十錢
一仝狀袋　二十枚續　三錢二厘以上四錢
　百枚　十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具　矢野洋行
一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン　十帖　六圓五十錢以上三十五圓
一疊　二圓六十錢以上三圓
一薄縁　十枚　八圓
一麻縁通　仝
一綿縁通　一疊敷　三圓　三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.20 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙